


安全に関するご注意


- ここに示した注意事項は、商品を正しく安全に設置・取付していただき、取付作業者及び商品を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
- 誤った作業により生じる危害、損害の程度により次の二つに区分しています。

△ 警告 作業を誤った場合に設置作業者又は、設置後の商品の不具合によって、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


△ 注意 作業を誤った場合に設置作業者又は、設置後の商品の不具合によって、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。設置終了後、点検表にしたがって試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

絵表示の意味について

 禁止の行為であることを告げるものです。








 行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

△ 警告

-  電気工事、水道工事は関連する法令、規則にしたがって、必ず『有資格者』が行ってください。

接続や、固定が不十分な場合は、発煙や火災、水漏れの原因になります。

△ 注意

-  商品の改造や仕様変更は行わないでください。
事故の原因となるおそれがあります。
-  運搬中に製品をぶつけないでください。又、運搬は二人以上で行ってください。
製品を周辺設備にぶつけると製品及び周辺設備が破損したり、傷が付き使用できなくなります。
-  設置終了後に扉の傾き、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。
使用中に扉が落下して、ケガをすするおそれがあります。
-  キッチンに組み込まれる電気製品、その他機器については、それぞれの製品の取付設置説明書や本体の注意表示をご覧ください、正しい設置を行ってください。
据付け方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
-  設置時に使用される溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、容器等に記載の注意事項にしたがい正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチンの損傷や劣化の原因になります。
-  設置後に梱包材を使用し、ステンレストップに覆いをし、保護してください。
物が落下して、ステンレスに傷が付く場合があります。
-  製品に乘ったり脚立などを立てないでください。
キッチンが変形したり、落下してケガをすするおそれがあります。

△ 注意

- キッチンは水平で平滑な場所に設置して、壁面及び床にしっかりと固定してください。
キッチンが転倒して、ケガをされるおそれがあります。

商品寸法

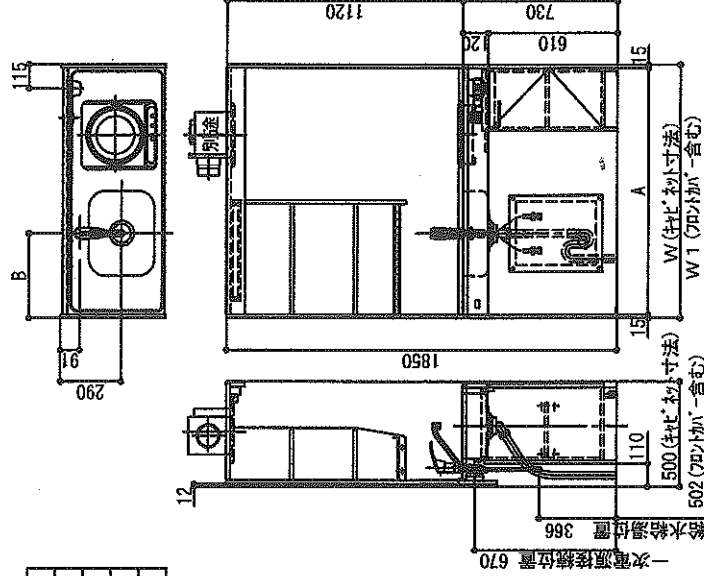
(単位: mm)

本図は左シンクです。右シンクは左右反対になります。

フルタイプ 完成図面

タイプ別寸法表

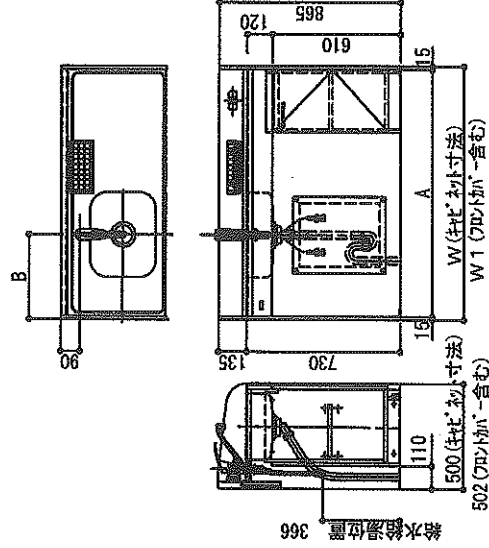
W寸法	W1寸法	A寸法	B寸法
900	903	860	350
1050	1053	1010	500
1200	1203	1160	650
1500	1503	1460	950



ハーフタイプ 完成図面

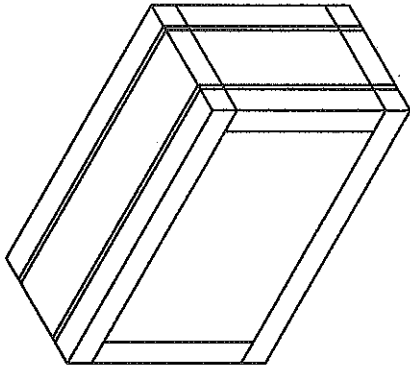
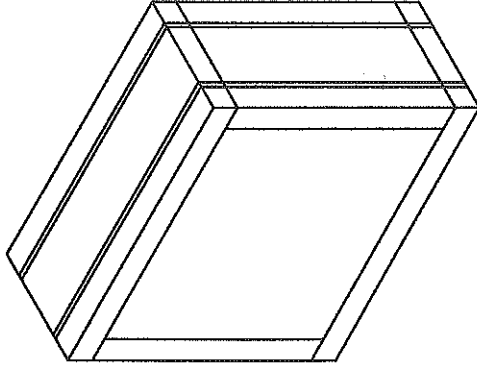

タイプ別寸法表

W寸法	W1寸法	A寸法	B寸法
900	903	860	350
1050	1053	1010	500
1200	1203	1160	650
1500	1503	1460	950



梱包リスト

下記部品で構成されていますので数量をお確かめください。

フルタイプ 下部ユニット及びハーフタイプ	フルタイプ 上部ユニット
	
<p>共通部品 水栓箱 — 混合水栓</p>	<p>フロントカバー サイドカバー</p>
1 個	2 本 1 本
	
<p>説明書セット — キッチン取扱説明書 — キッチン取付設置説明書</p>	
1 冊 1 冊	
<p>床固定ビスセット — 本体下部固定用 L 金具</p>	
2 ケ 6 本	
<p>— 皿径φ3.5 X 14</p>	
1 セット	
<p>排水管セット — S 字管セット</p>	
フルタイプ専用部品	
取付ビスセット	
— 本体上部固定用 L 金具	2 ケ
— 本体上下固定用平金具	1 ケ
— 丸径φ3.1 X 16	1 本
— 丸径φ3.5 X 32	2 本
ハーフタイプ専用部品	
水切り柵	1 個
オプション部品	
サイドキャビ付 — 柵板	1 枚
電気温水器付 — 7/8 管 L600X2	2 本
— ニップル	4 個
— 電温カバー	1 セット

設置に際して、下記の工具をご用意ください。

設置用工具

電動ドライババー・モンキースパナー・脚立・メジャー・カッター・ナイフ・ローラー（又は、ハンマー）
当て木）・ドリル・プラスドライババー・マイナスドライババー・水听器

設置準備

1. 搬入

- 建築工程の進み具合、通路、仮置き及び組立て場所の確保、部材のチェックをしてください。

2. 墨出し

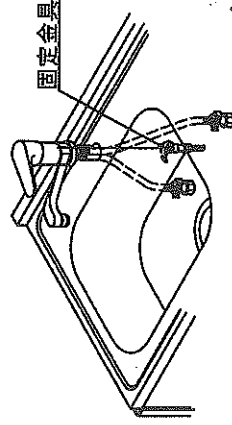
- 建築・設備を確認の上、墨出しをしてください。

3. 組立て場所の設定

- 設置場所付近にて、組立て作業ができるように、水平な所を設定してください。

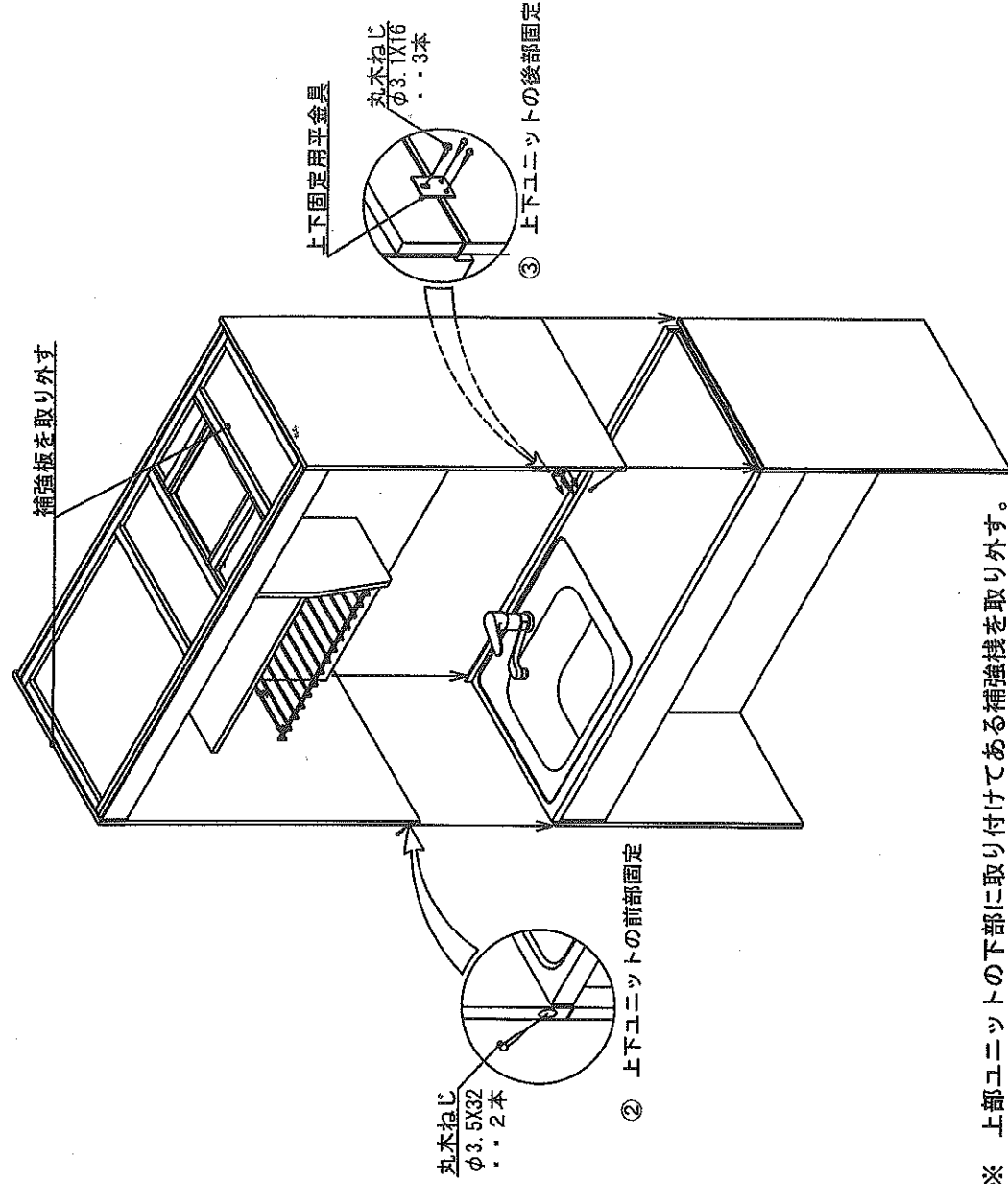
4. 水栓の取付け

- 右図のように水栓の下部にあるボルトに固定金具を差し込み、固定金具を回して固定して下さい。



5. 上下ユニットの連結 (フルタイプ)

- ① 下部ユニットのダボに合わせ、上部ユニットを連結してください。
- ② 上部ユニットの前木口からビス (丸モク3.5X32) で固定してください。
- ③ 背板の中央で、同梱してある平金具と丸モク3.1X16で上下を固定してください。



※ 上部ユニットの下部に取り付けてある補強板を取り外す。

設置

水平でしっかりした床面に設置してください。
床面の若干の凹凸は薄い板等を敷いて調整してください。

1. 設置場所へ移動

- キッチンの前面は、作業及び通行に十分なスペースを取ってください。
- 移動前に給水・排水位置及び、一次電源コードを確認してください。
- 移動前にフルタイプのときは照明用コードと換気扇用コードを天井板の上まで延ばしてください。

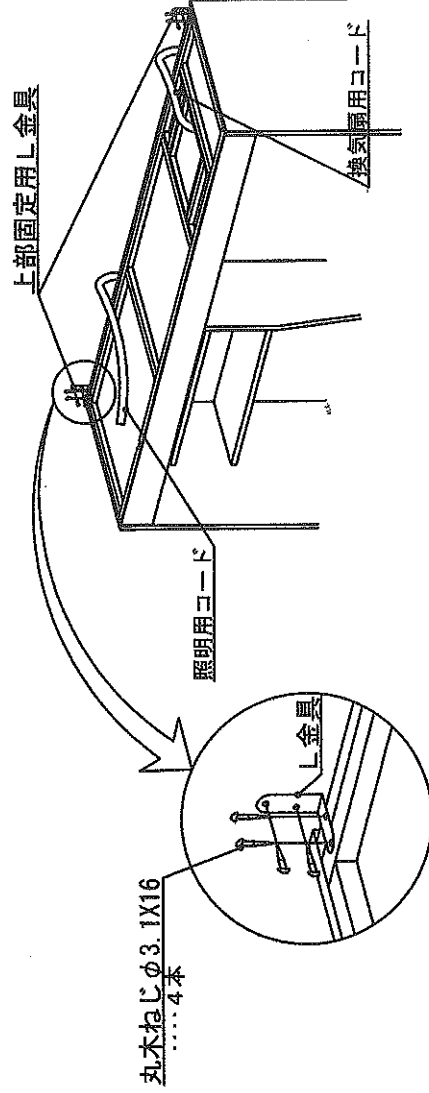
2. ユニットの固定

- L金具で壁面と床に固定してください。

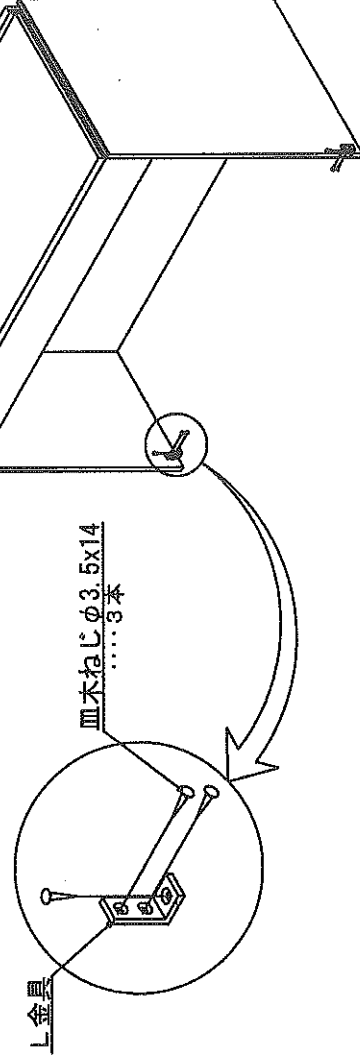
⚠ 注意

● **!** キャビネットは、必ず壁面と床に固定してください。
・ 固定を行わないと、キャビネットが転倒して、ケガをすおそれがあります。

- L金具で壁面に固定してください。
壁面に使用する木ネジが短いときは現場で調達して下さい。

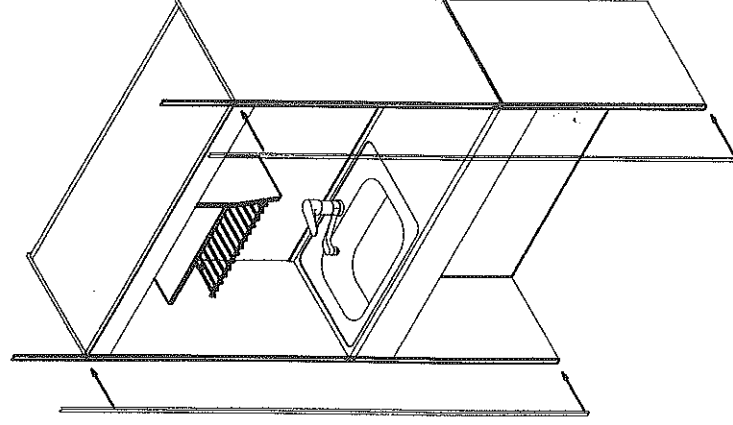


- L金具で床に固定してください。
側板の直角・平行を確認のうえ床に固定して下さい。
同梱されている床を固定するビスは木質用です。
木質以外の床に固定する場合はビスを別途用意してください。



3. フロントカバターの取付け

- 側板の前面木口のほこり、汚れを取ってください。
- フロントカバターの両面テープの離型紙をはがしてください。
- キッチンの下端とフロントカバターの両面テープを合わせてください。
- フロントカバターの両面テープをキッチンの強面に貼り付けてください。
- 余分なフロントカバターの両面テープをキッチンに合わせてカットしてください。



4. コーキング

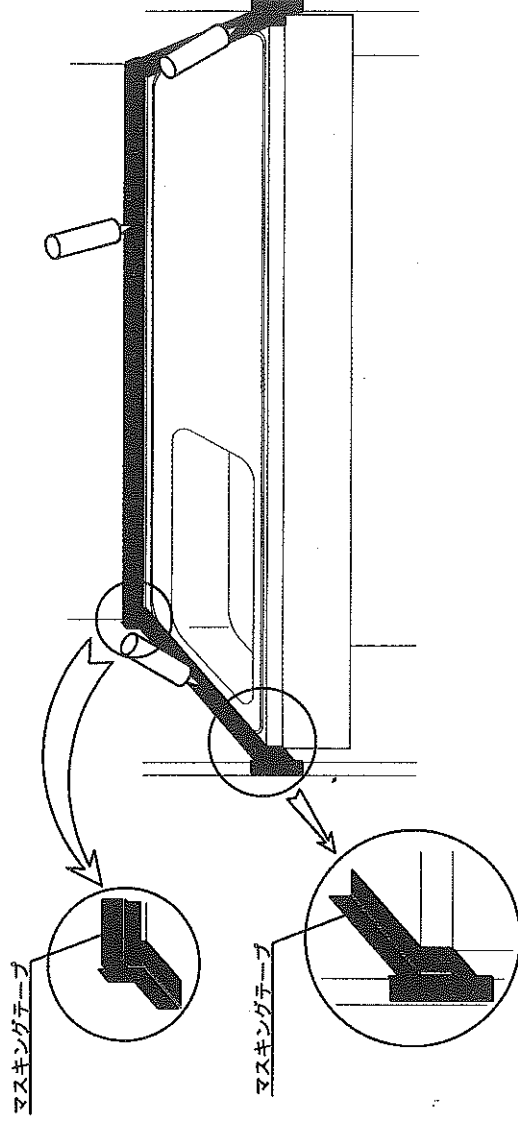
注意



コーキングは必ず行ってください。

- コーキングを行わないと隙間より水が庫内に浸入してキッチンを傷めることがあります。

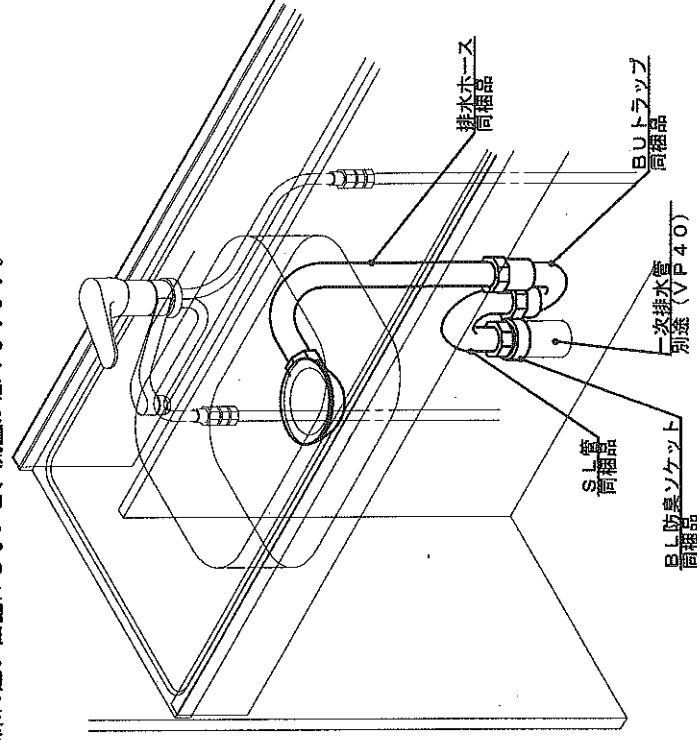
- カウンタートップと側板、背板に下図のようにマスキングテープを貼ってください。
※シール箇所はカウンタートップと側板、背板の隙間です。(下図の太線部)
- シール箇所のゴミ・汚れのないように清掃を行ってからテープを貼ってください。
- カウンタートップと側板、背板との隙間をコーキング剤で充填してください。
- コーキング剤を充填した箇所をへらで平らに成形してください。
- 成形後、コーキング剤が乾燥しないうちにマスキングテープをはがしてください。
※コーキング後、コーキング剤が乾燥するまで24時間放置してください。



5. 排水工事

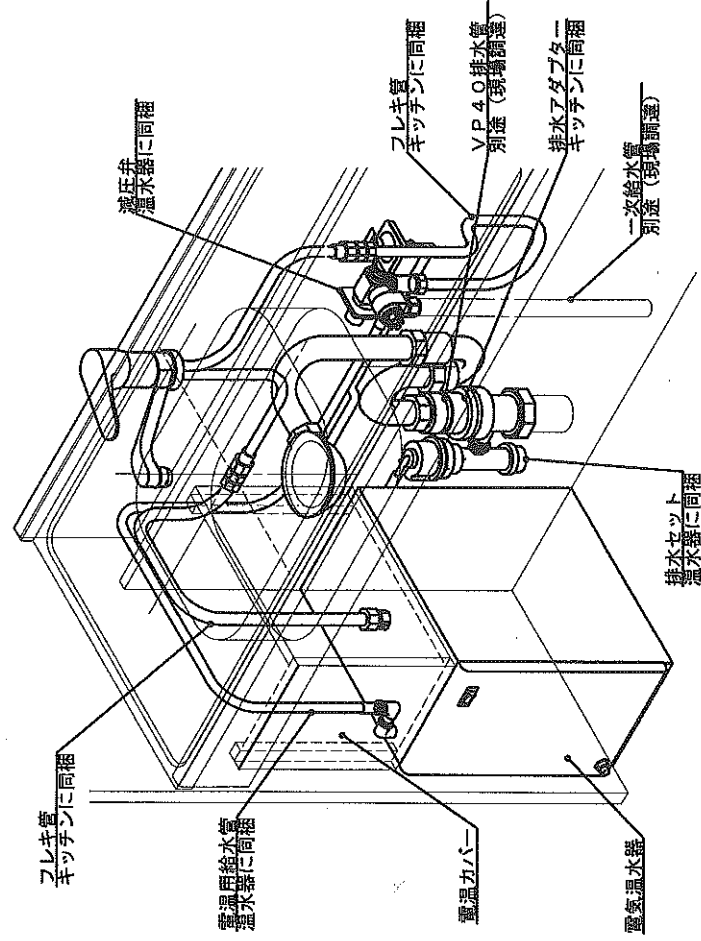
標準配管

- 下図のように排水管を接続して下さい。
- 接続部は接着剤又は、ナットで水漏れが発生しないように接続して下さい。
※正しく接続しないと、水漏れの原因となります。
- ※S字部は床に近い位置にしないと、流量が悪くなります。



電温仕様用配管

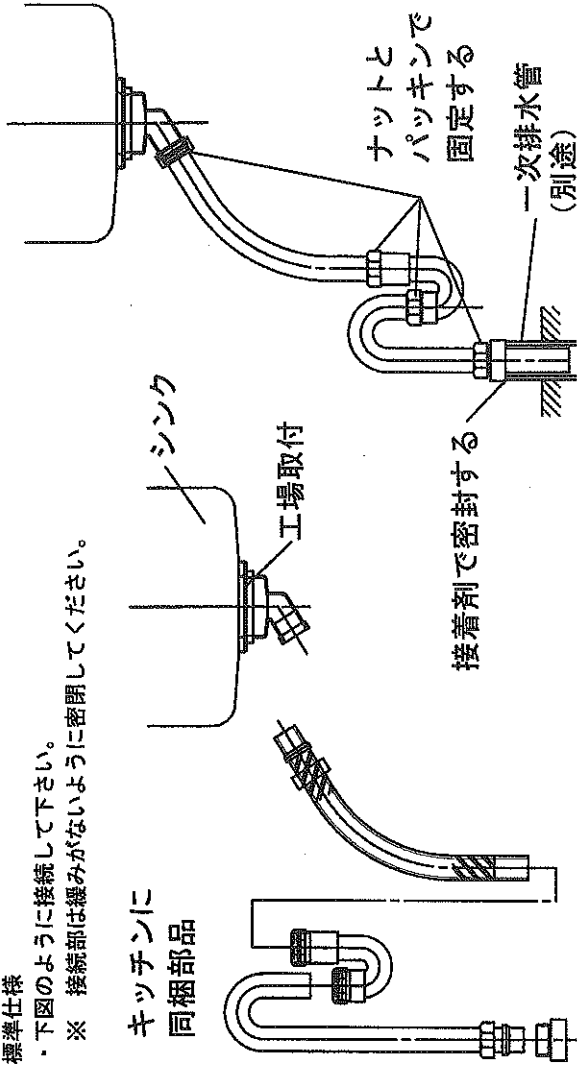
- 下図のように排水管を接続して下さい。



● 標準仕様

- ・下図のように接続して下さい。
- ※ 接続部は緩みがないように密閉して下さい。

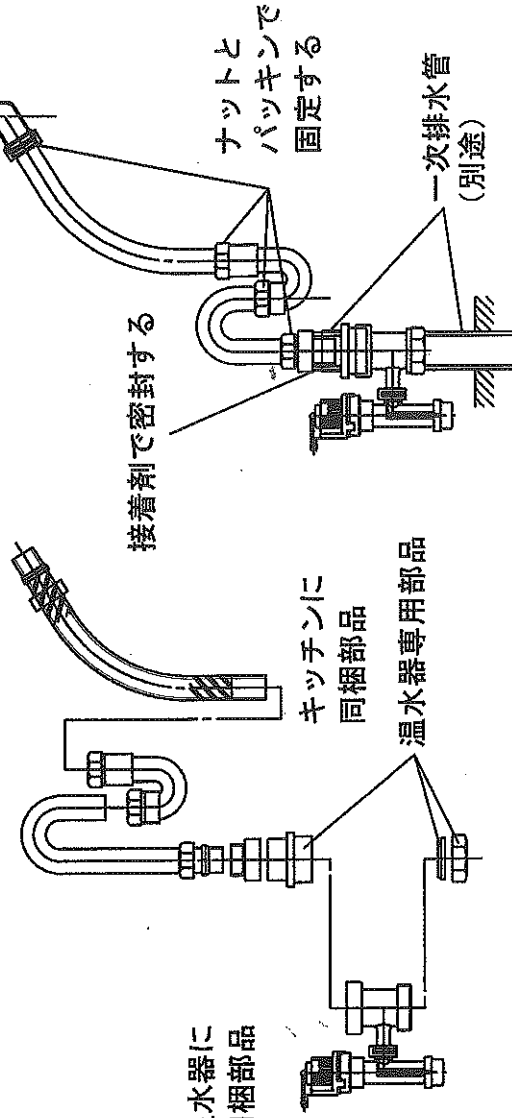
キッチンに
同梱部品




● 温水器仕様

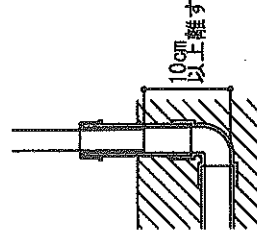
- ・下図のように接続して下さい。
- ※ 接続部は緩みがないように密閉して下さい。
- ※ 接続に関する注意事項は温水器の説明書をご覧ください。

温水器に
同梱部品



▲ 注意

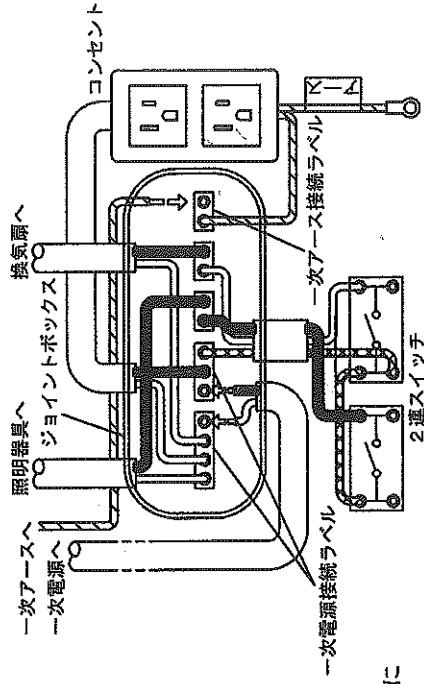
-  S L管は一次排水管の底に当たらないでください。排水能力が低下して、シンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。S L管を適切な長さに切断してください。



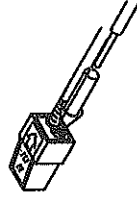
⚠ 警告

- 電気工事は関連する法令・規則にしたがって、必ず『有資格者』が行なってください。
- ・ 接続や固定が不完全な場合は火災の原因になるおそれがあります。

- ① 換気扇ラベルの貼ってある電線を換気扇の引き込み穴に差込み、ターミナルに接続してください。
- ② 照明ラベルの貼ってある電線を蛍光灯のコネクターに接続してください。

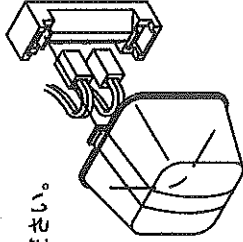


- ③ 一次電源の電線被服を13mmむき、表示ラベルにしたいがい差し込んでください。

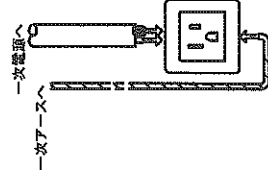


横面の透明窓で奥まで入っていることを確認してください。

- ④ コネクターをひとまとめにして、ジョイントボックス内に収めてください。



- ⑤ 電気温水器付きの場合
電気温水器用コンセントに一次電源コードを
接続してください。



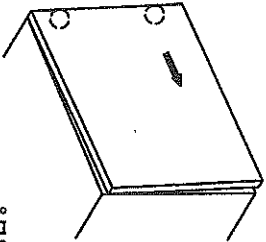
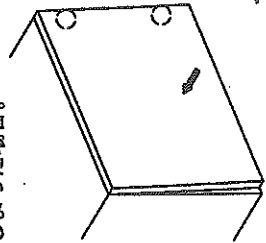
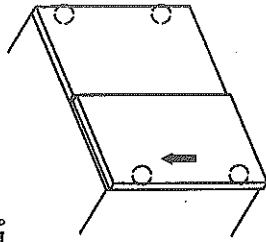
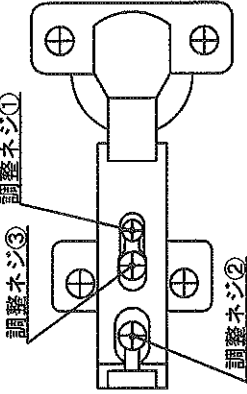
- ⑤ ハーフタイプの場合
背板のコンセント及び、ヒーター用コンセントに一次電源コードを
接続してください。

7. ビルトイン機器の取付け

- ビルトイン機器がある場合は、機器に添付されている取付設置説明書にしたがい、正しく設置してください。

8. 清掃・チェック

- 給水栓を開いて水を出し、配管部（排水トラップ・排水管）に水漏れがないか確認してください。
 ※ 給水・給湯の配管内に砂やゴミなどがたまっていないか確認してください。
 水栓の弁にゴミがはさまり、水栓に水漏れがおきないように吐水口の整流器を外し、全開放水してゴミなどを洗い流してください。
- 扉やキャビネットなどに汚れがついている時は、柔らかい布かスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。
 ※ シンナー・ベンジンなどは商品のためです。使用しないでください。
- 扉間の段差や隙間の不揃いがある時は、下図のようにヒンジを調整してください。

<p>扉の傾き調整</p> <p>図の様に扉が左下に傾いてしまった場合。</p>  <p>下側丁番の調整ネジ①を回して扉が矢印の方向に寄る様に調整してください。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。</p>	<p>扉のうき（隙間）調整</p> <p>図の様に扉と本体の隙間が上下で異なってしまった場合。</p>  <p>下側丁番の調整ネジ②をゆるめ下の丁番を奥にスライドさせて隙間を合わせてください。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。</p>	<p>扉の段差調整</p> <p>図の様に左の扉が下がってしまった場合。</p>  <p>上下の丁番の調整ネジ③をゆるめ丁番を上側にスライドさせて段差を合わせてください。 調整後、必ず調整ネジ③を締付けて丁番を固定してください。</p>
		

- ※ 注意 関連機器の点検・整備はその機器の設置説明書にしたがい、点検・整備してください。

9. 設置後の処理

本商品の設置後、ステンレストップに傷やダコンに傷やダコンが付く可能性があります。

商品の梱包材を使用して、ステンレスを養生してください。

商品には、取扱説明書が同梱してあります。

注意事項・お手入れ方法などを十分ご説明の上、お施主様又は、工事責任者様にお渡しください。

設置完了後

本表は、設置後に行う点検表です。本表にしたがってチェックしてください。

	チェック
1. 商品に傷や割れはないか？	
2. 扉間に段差や隙間の不揃いはないか？	
3. 配管部に水漏れはないか？	
4. 器具の取付けは行ったか？	
5. スイッチは正しく作動するか？	
6. コーキングが必要な箇所にシリコンでシーリングを行ったか？	